

平成27年度学校評価(自己評価)統計分析～ χ^2 乗検定による有意差

項 目	No.	評 価 指 標	H27	H26	比較	H27年度			H26との比較		
						p 値	有意差		p 値	有意差	
A 校内業務	1	学校教育目標や重点教育目標を意識し、その達成を目指して日常的教育活動を推進している。	3.34	3.32	0.02	0.00	無		0.07	有	▼
	2	学校教育目標等を達成できるよう、適切な教育課程（時間割、行事計画等）が編成され実施されている。	3.18	3.00	0.18	0.00	無		0.06	有	○
	3	各学部、事務部が協働体制を整え、連携して円滑な教育活動を展開している。	3.32	3.03	0.29	0.00	無		0.31	有	○
	4	諸会議や各種打ち合わせなどでは、それぞれの考えが積極的に表明され、相互の意見を尊重した運営がなされている。	3.21	3.08	0.13	0.00	無		0.01	無	
	5	諸会議や各種打ち合わせなどは、効果的・効率的に運営されている。	3.24	3.11	0.13	0.00	無		0.00	無	
	6	各部や分掌での業務は、職員個々の能力や特性に応じて適切に分担され、組織的に機能して処理されている。	3.19	3.11	0.08	0.00	無		0.01	無	
	7	保護者へ教育(指導)内容や方法、評価(様子)、諸費、事務手続きなどについて日常的に説明し、理解を得ている。	3.39	3.34	0.05	0.00	無		0.02	無	
	8	保護者と職員の協力のもとでPTA活動の活性化に努めている。	3.13	3.05	0.08	0.01	有	▼	0.01	無	
	9	学校職員と病院各部署との共通理解の下、連携して教育の充実が図られている。	3.13	-	-	0.01	有	▼			
	10	諸活動の工夫や物品の有効活用など、予算を計画的・効率的に執行している。	3.29	3.05	0.24	0.00	無		0.17	有	○
B 地域連携・校内支援	11	学校だよりやウェブページ、授業公開などの充実を図り、地域に対して本校の教育活動や病弱教育の理解・啓発を行っている。	3.55	3.55	0.00	0.02	有	○	0.10	有	▼
	12	学部や学級の教育活動において、地域の人材や施設等の教育資源を活用している。	3.16	3.26	-0.10	0.00	無		0.41	有	▼
	13	教育活動や教育相談、研修、児童生徒の支援などの取り組みの中で関係機関や地域ネットワーク等と連携している。	3.24	3.22	0.02	0.00	無		0.07	有	▼
	14	相談や支援活動に、担当者のみならず他の教員も協力して組織的に取り組んでいる。	3.03	2.92	0.11	0.02	有	▼	0.00	無	
C 安全管理・健康管理	15	火災や地震、不審者や情報漏洩などに備えてマニュアルが整備されるとともに、訓練や研修などを通じてそれらに対応するための校内体制が整えられている。	3.32	3.13	0.19	0.00	無		0.06	有	○
	16	児童生徒が自分で身を守る力や非常時における職員の対応力が向上するよう、想定を工夫した訓練が実施されている。	3.29	3.08	0.21	0.00	無		0.10	有	○
	17	傷病発生や感染症対策、衛生管理等のマニュアルが整備され、日常的な管理や発生時に組織的に対応できる体制が整えられている。	3.37	3.16	0.21	0.00	無		0.10	有	○
	18	施設・設備・衛生状態などの点検活動、修繕や清掃等が日常的・組織的に行われ適切な学習環境が整えられている。	3.53	3.42	0.11	0.02	有	○	0.00	無	

	19	八雲病院や保護者等と十分連携し、日常的な健康管理が適切に実施されている。	3.42	3.32	0.10	0.01	有	○	0.00	無	
D 教育環境	20	指導に必要な補助具やコンピュータ等の情報機器などの支援機器が整備され、教育活動に活用されている。	3.55	3.26	0.29	0.02	有	○	0.33	有	○
	21	教材・教具も適切に管理されるなど校内は整理・整頓が行き届いており、使用しやすい環境が整えられている。	3.21	2.87	0.34	0.00	無		0.52	有	○
	22	各種教材や図書などの整備充実がなされ、教育活動に活用されている。	3.26	3.18	0.08	0.00	無		0.00	無	
	23	日常の学習活動や連絡など、保護者や児童生徒などにわかりやすく工夫した掲示がなされている。	3.39	3.26	0.13	0.00	無		0.01	無	
	24	病弱教育や重度重複障害教育の専門性向上のため、道内外の関係機関とも連携して計画的・組織的な研修が推進されている。	3.16	3.05	0.11	0.00	無		0.00	無	
E 専門性の 向上	25	質の高い授業づくりを目指し、校内の授業研究や授業公開、研修会等への参加や自己研鑽などに取り組んでいる。	3.16	3.08	0.08	0.00	無		0.01	無	
	26	病弱教育や重度重複障害児の教育・指導などに関する図書や事例などの文献の充実や整理が図られ、必要に応じて活用されている。	2.97	3.00	-0.03	0.03	有	▼	0.16	有	▼
F 学習・ 生徒・ 進路指導	27	個別の教育支援計画や個別の指導計画など、保護者や学部において共通理解を図り、適切な実態把握に基づいて作成し、年間指導計画などに生かして指導を進めている。	3.37	3.32	0.05	0.00	無		0.03		
	28	児童生徒一人一人の願いや良さを生かした指導を工夫し、児童生徒が十分理解でき、主体的に取り組める授業づくりをしている。	3.47	3.34	0.13	0.01	有	○	0.01	無	
	29	様々な学習場面を工夫・活用し、児童生徒の特徴を生かした表現力やコミュニケーション能力を育成している。	3.42	3.32	0.10	0.01	有	○	0.00	無	
	30	児童生徒が習得した知識を活用したり意見を出し合ったりして主体的・能動的に学習を深められるよう、アクティブ・ラーニングを取り入れた指導に取り組んでいる。	3.29	-	-	0.00	無				
	31	児童生徒一人一人の将来を見据え、病気の状態や理解力などに応じて学力や生活に必要な技能を育成している。	3.35	3.24	0.11	0.00	無		0.00	無	
	32	児童生徒へ道徳や全ての教育活動を通じて、自他の生命や規範意識、自然などを大切にする気持ちを育成している。	3.18	3.13	0.05	0.00	無		0.03		
	33	児童生徒が自己理解を深め、自己肯定感を育み積極的に生きようとするための適切な指導や心理的ケアが実施されている。	3.24	3.24	0.00	0.00	無		0.11	有	▼
	34	相手校と十分連携し、児童生徒のニーズや実態などに応じ、充実した交流及び共同学習を進めている。	3.42	3.37	0.05	0.01	有	○	0.03	無	
	35	指導の状況や結果を適切に評価し、指導に関わる関係者間で十分共通理解できるようにし、指導の改善を進めている。	3.21	3.18	0.03	0.00	無		0.05	有	▼
	36	年齢や実態に応じた勤労観の育成や自己理解、進路や職業に関わる情報提供など、主体的な進路選択能力を育成している。	3.32	3.13	0.19	0.00	無		0.06	有	○
	37	本人や保護者の意識を高めるために、関係機関とも連携して計画的な進路指導や情報提供などを行っている。	3.32	3.16	0.16	0.00	無		0.02	有	○

G その他	38	今年度の重点教育目標は、ほぼ達成されたと思う。	3.22	-	-	0.00	無		
		全項目平均	3.29	3.18	0.11	※年度内の平均 値との差異が大き い項目		※前年度からの 変化の平均値との 差異が大きい項目	
		自由度	37		34				
		有意水準 (α)	0.01		0.05				
		理論値	3.29		0.11				